

表計算

Lotus 1-2-3

初級・活用編



ワン・ツー・スリー

# 第4章

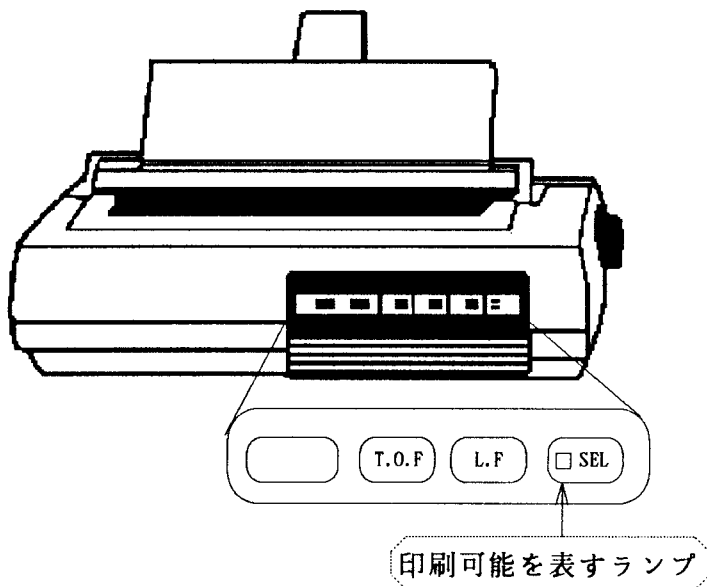
1 1. 印 刷 .....	51
(1) 印刷書式の設定 .....	52
(2) 行末位置と頁行数 .....	53
(3) 印刷用紙の設定 .....	55
《練習問題》 .....	56
(4) 印刷文字を飾る（印刷属性を変える） .....	57
(5) ヘッダ、フッタを指定する .....	58
(6) 縮小印刷 .....	60
(7) その他の指定 .....	61
(8) 規定値の更新 .....	61

## 1 1. 印 刷

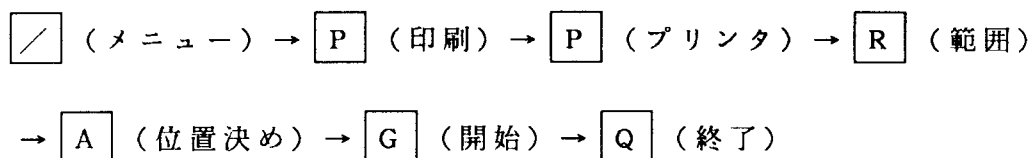
印刷を行う前に、常識的なことも含めて次のことを確認します。

- ① プリンタは、パソコンに接続されているか？
- ② プリンタの電源は入っているか？
- ③ プリンタに紙はセットされているか？
- ④ 印刷可能な状態になっているか？

NECのプリンタではSELランプが点灯しているかどうかを確認する。



印刷の基本的な流れは、基礎編で印刷した手順になります。



ここで、設定したのは印刷範囲だけでした。表が小さい場合には印刷範囲が紙の印刷可能文字数を超えることはないのです、問題なく印刷できました。

(設定しなければ、初期値は76となっている)

しかし、上手に印刷を行うには、印刷書式に関する知識が必要となります。印刷について設定する項目はたくさんあり、またプリンタや使用する用紙の違いなどが関わってきます。

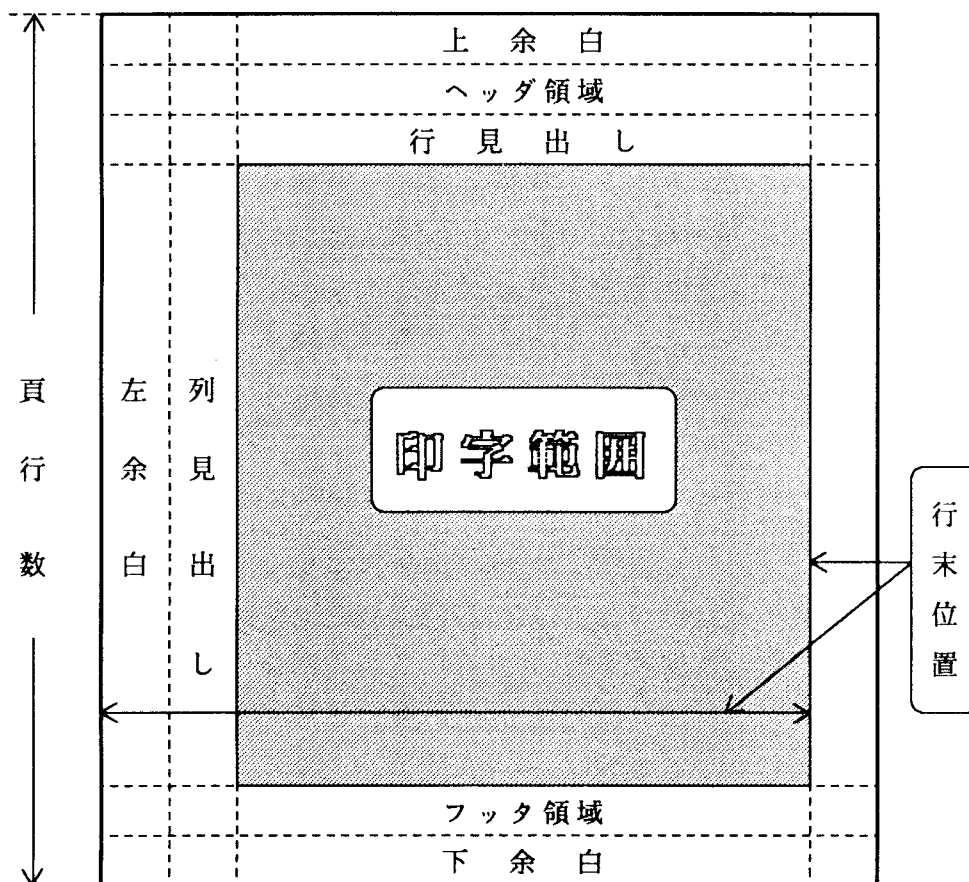
例) プリンタの種類 ページプリンタやドットプリンタなど  
印刷用紙の種類 連続用紙 10インチ、15インチ  
単 票 B5～A3など  
シートフィーダの使用の有無

ここでは、基本的な設定について説明していきます。

(1) 印刷書式の設定

ワープロで印刷を行うときと同じように印刷書式を設定します。

印刷に関する書式は以下の通りです。



これらの指定は  (メニュー) →  P (印刷) →  P (フリック) →  O (オプション) で設定を行います。

基本的な書式設定を行うのは、左・上・下余白と行末位置及び頁行数です。ヘッダやフッタ、行見出しや列見出しなどは必要に応じて設定します。

※ 1-2-3 の初期状態は、10インチ連続用紙に設定されています。

規 定 値

上余白	.....	2行	下余白	.....	2行
ヘッダ	.....	3行	フッタ	.....	3行
左余白	.....	4桁	行末位置	.....	76桁
頁行数	.....	66行			

(2) 行末位置と頁行数

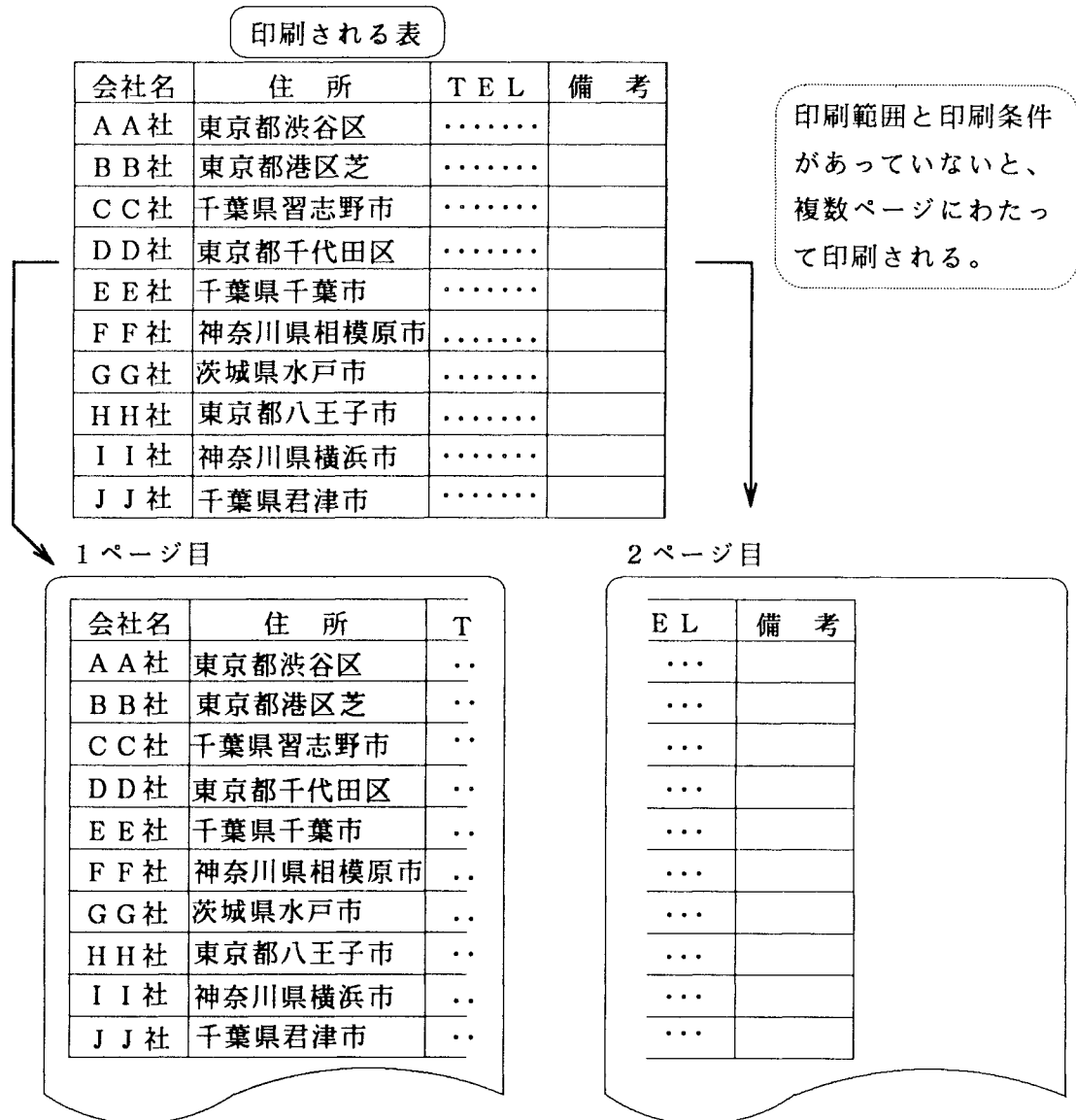
1-2-3で上手に（思い通りに）印刷を行うには、印刷する用紙の大きさに応じた設定が必要になります。

印刷範囲と設定した条件があっていないと、1ページにおさまらず2ページにわたって印刷されたりします。

印刷条件の設定で鍵を握っているのが、行末位置と頁行数です。

規定値では頁行数66行となっていますが、上余白やヘッダ、下余白やフッタの部分があり、実際には1頁に印刷できる行数は、 $66 - 10 = 56$ 行になります。（ヘッダ、フッタを無視する設定もできる）

1行に印刷される文字数も左余白を引いた72桁（半角文字）になります。



まず、ワークシートの左から1ページに入るだけ印刷を行い、次にその下に行が残っていれば次ページにその部分を印刷します。  
全部の行について印刷できたら、今度は右側の範囲について上から順に印刷していきます。

設定するページ行数と行末位置については使用する用紙によって変わります。用紙による印刷可能桁数と、行数を把握しておくことが必要になります。

例えば、A4版縦で55行印刷できるとします。

行に関して設定する項目は、上余白、下余白、ヘッダ、フッタがありますが、規定値ではこの合計は10行になります。印字可能な行数は45行ということになります。

実際に設定するときには、ヘッダをつけないとか、フッタをつけないなどで印刷可能行数は変わります。（ヘッダ抑止、フッタ抑止で0にする事ができる）

行末位置は1行に何文字印字するかを指定しますが、左余白も考慮に入れて指定します。印字可能文字数の最大を設定しておけばよいでしょう。

下図は **P印刷** → **Pプリンタ** を選択した画面です。印刷範囲を指定すると印刷範囲の桁数と行数が表示されます。

[Range]出力範囲を指定します。  
印刷設定一覧

出力先: NEC PR201H/HC/T/V/F

範囲:

桁数	行数

ヘッダ: 印字属性

フッタ: 印字属性

↑ここに注目する

次に、印刷範囲をA1..F10まで指定すると、

[Range]出力範囲を指定します。  
印刷設定一覧

出力先: NEC PR201H/HC/T/V/F

範囲: A1..F10

桁数	60	行数	10
----	----	----	----

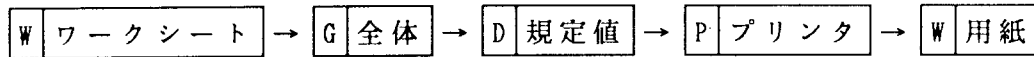
ヘッダ: 印字属性

フッタ: 印字属性

印刷に必要な桁数と行数を把握することができます。

(3) 印刷用紙の設定

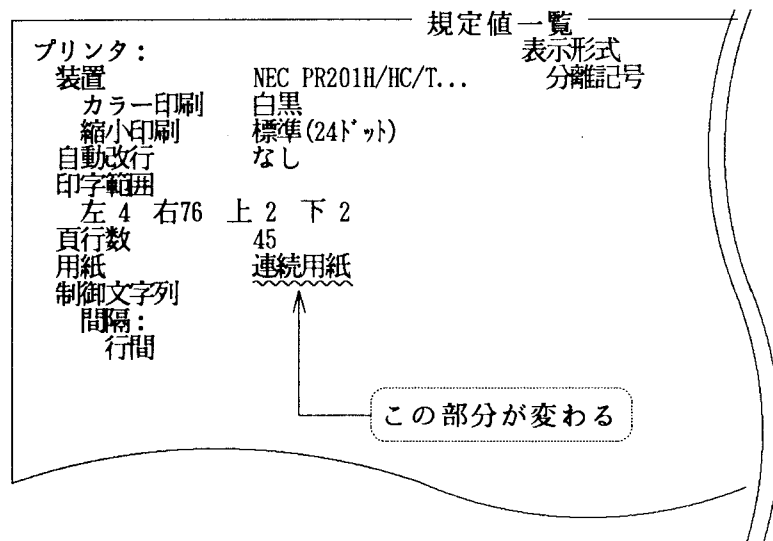
先にも述べましたが、用紙には連続用紙と単票があり、また単票を使用する時にもカットシートフィーダを利用するときには、その指定を行います。使用する用紙の設定は次のように行います。



操作パネルに、

連続用紙 Y単票 Sシートフィーダ と表示されますので、使用する用紙に合わせて、リターンキーを押します。

設定が終了したら、「Q」→「Q」で処理を終えて元のワークシート表示に戻ります。



W ワークシート → G 全体 → D 規定値 → P プリンタ で印刷に関連する項目を設定することができます。

印刷に関する設定は、規定値で設定する場合と、P 印刷 の 0 オプション で設定する場合の2通りの方法がありますが、そのときの状況によって使い分けます。(後で説明します。)

使用する用紙に応じた印刷設定の目安を下に示します。

NEC PC-PR系プリンタ

印刷用紙の種類	行数 / 1 頁	文字数 / 1 行
10 インチ	66	120
15 インチ	66	180
A4 版 - 縦	60	105
A4 版 - 横	40	150
B4 版 - 縦	76	135
B4 版 - 横	50	180

これにはヘッダ、フッタを含みます。  
 行間を行間0で指定して行ピッチ、文字ピッチはともに0です。  
 文字数には左余白も含みます。

この値は目安にすぎません。実際にはテスト印刷して、いつも使用する用紙などの設定値を確認しておいて下さい。

《練習問題》

住所録というファイルを読み出して印刷してください。

平成〇〇年 住所録一覧表

NO	氏名	フリガナ	〒	住所
1	川口 みどり	カガクチミドリ	350-02	埼玉県入間郡浅川町4-12-6
2	森川 庄司	モリカワショウジ	834-11	八女郡上陽町花森3-33
3	吉田 章夫	ヨシダ アキオ	259-11	伊勢原市鶴巻町4-27
4	相川 なつき	アイカワナツキ	003	札幌市白石区南郷通2条2丁目
5	江田 実	エダミノ	190	立川市錦町5-6-4
6	宮崎 えりか	ミヤザキエリカ	196	昭島市緑町3-45-6-5
7	太田 裕美	オオタヒロミ	861-05	熊本県鹿本郡鹿央町大字佐倉1451
8	安永 民雄	ヤスナガタミオ	299-14	富津市小久保1987-2
9	福原 麗子	フクハラレイコ	330	大宮市南袋町3-3-91
10	安田 成美	ヤスタナルミ	299-11	君津市南子安1991-3
11	伊藤 則夫	イトウノリオ	160	新宿区大京町3-21メゾン一刻
12	渡辺 美紀	ワタナベミキ	227	横浜市緑区東八方町5-62
13	斎藤 麻衣子	サイトウマユコ	399-83	長野県南安曇郡高田1-1-44
14	井上 純一	イノウエジュンイチ	229	相模原市橋本7-8VIPビル307
15	井森 美幸	イモリミユキ	294	館山市海岸通り西333
16	磯崎 章夫	イソザキアキオ	229	相模原市南橋本52-102
17	引田 友則	ヒキタトモノリ	380	長野市安茂里北里3654
18	宇沙美 ゆか	ウサミユカ	836	大牟田市西萩尾町5555
19	羽田 伸二	ハネダシンジ	190	立川市錦町4-12-33
20	永作 博美	ナガサキヒロミ	299-11	君津市外箕輪1-1-22
21	越智 博司	オチヒロシ	190	立川市羽衣町4-25-10
22	円谷 優子	ツブラキユウコ	190	立川市柴崎町1-12
23	岡本 和子	オカモトカズコ	351-01	和光市大和団地1-4-102
24	富田 靖子	トミタヤスコ	186	国立市富士見台4-56-203
25	芳賀 ゆい	ハガユイ	351	朝霞市根岸台南4-4-23
26	北岡 悟	キタオカサトル	104	渋谷区元代々木町102-12
27	大原 均	オオハラヒトシ	088-05	白糠郡白糠町南庶路3条北2丁目
28	堀 ちえみ	ホリチエミ	190	立川市羽衣町1960
29	畑田 喜久男	ハタタキキオ	353	埼玉県志木市本町52-3
30	三雲 理沙	ミクモリサ	190-11	東京都西多摩郡羽村町東42



(4) 印刷文字を飾る（印刷属性を変える）

ワープロでは、表題を倍角文字にしたり、アンダラインをつけたりで文書を強調したり、メリハリをつけたりします。

1-2-3の印刷でもこのような文字飾りを行うことができます。

ワープロのように画面上には変化はなく、印刷を行ったときに文字が装飾されます。

印刷属性には、次の12種類が用意されています。

（リセットを含めると13種類）

0. 強調	....	印刷属性
1. 下線	....	印刷属性
2. 強調と下線	....	印刷属性
3. 倍高	....	印刷属性
4. 倍角	....	印刷属性
5. 倍角と強調	....	印刷属性
6. 倍角と下線	....	印刷属性
7. 倍角と強調と下線	....	印刷属性
W. 4倍角	....	印刷属性
X. 4倍角と強調	....	印刷属性
Y. 4倍角と下線	....	印刷属性
Z. 4倍角と強調と下線	....	印刷属性

この指定は、**P印刷**のコマンドではなく、**R範囲**コマンドで指定します。先ほどの住所録ファイルの表題を倍角・強調・下線で指定しましょう。

① **/**か**f.1**でメニューを開き、**R範囲**を選択します。

② 次に、**F表示**→**A印字属性**を選択します。

③ 印字属性の中から**7**を選択します。

④ 最後に、属性範囲を指定してリターンキーを押します。設定されたセルを見てみると、{A7}平成〇〇年 住所録一覧となっています。

以上印字属性が設定できたら、印刷して確かめてください。

(5) ヘッダ、フッタを指定する

ヘッダとは文書の各ページの上部に、文書の標題、日付など同一内容を同一形式で印刷したものをいい、フッタは反対に文書の各ページの下部に印刷したものをいいます。

1-2-3でも、このヘッダ、フッタを指定することができます。設定の仕方はヘッダもフッタも同じですので、ここではヘッダだけについて説明します。ヘッダは、社章や会社名、タイトルの見出しや日付・ページなどがよく活用されます。

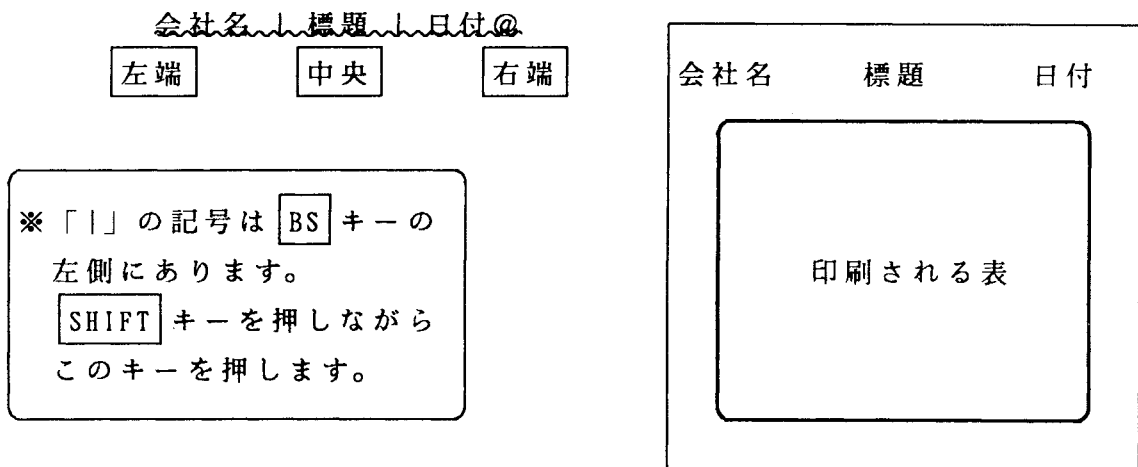
ヘッダを印刷する場合でも、先ほどの印字属性で指定した倍角やアンダラインなどを設定することも可能です。

また、ヘッダについて1-2-3では日付とページが指定できる関数が準備されています。

@ ..... 日付が印刷される。  
# ..... ページ数が印刷される。

ヘッダを印刷する位置は左・中央・右の3箇所を指定ことができ、その区切りは「|」（縦線）を用います。

例えば次のように指定します。



実際に、ヘッダを設定してみましょう。

① [P]印刷 → [P]プリンタ → [O]オプション を選択します。

その中から「ヘッダ」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

~~~~~  
ヘッダを指定してください:

②ここでは、左端に日付、右端にページを設定してみましょう。

次のよう入力し、リターンキーを押します。

~~~~~  
ヘッダを指定してください:作成日付:@||#ページ

③最後に、印字属性を指定します。

印字属性で指定した方法と同じです。  0 か  1 または  2 のいずれかを指定して下さい。

④  Q 終了 でオプションを終了します。

次のような設定になっているはずです。（属性を0で指定した場合）

[Range]出力範囲を指定します。  
R範囲 L改行 P改頁  オプション Cリセット A位置決め G開始 Q終了

印刷設定一覧

出力先:	NEC PR201H/HC/T/V/F			
範囲:	A2..F34			
ヘッダ:	桁数	80	行数	33
印字属性	作成日付@  #ページ			
フッタ:	[0]強調			
印字属性				

⑤設定が終わったので印刷します。

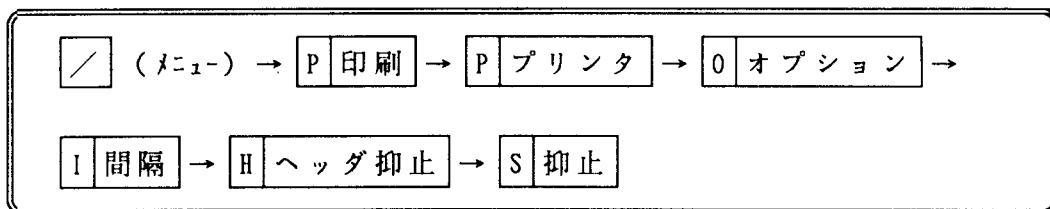
A 位置決め →  G 開始 で印刷をして下さい。

⑥印刷が終了したら、  P 改頁 →  Q 終了 でワークシートへ戻ります。

※規定値ではヘッダを印刷するように指定されており、設定を変えない限り、ヘッダ領域を確保しています。ヘッダを印刷する領域として用紙の上3行分がこれに割り当てられます。

ヘッダを指定していないときには3行分は、空白になります。

ヘッダを印刷しないで、ワークシートの印刷に使いたいときには、次のようにヘッダを印刷しないという設定を行います。



◎ヘッダの取り消し及び変更は、再度コマンドを選択して、取り消す場合は、指定してある文字を削除します。

変更する場合には、変更したい内容に変えます。

## (6) 縮小印刷

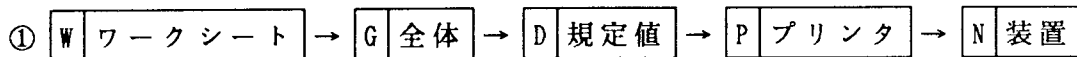
1-2-3では印字される文字の大きさを小さくすることができます。

これを縮小印刷といいます。（普通の印刷を標準印刷という）

通常のプリンタの印刷文字は、1文字が24×24ドットで構成されていますが、縮小印刷を行うと、16×16ドットの文字で印刷されます。

縮小印刷は、1ページに入りきれない時とかメモ程度に使用したいときなどに使うと便利です。

この指定は、印刷メニューではなく、印刷用紙の種類を設定したときと同じワークシートメニューで行います。



の順で指定します。

操作パネルに、接続されているプリンタ（環境設定で指定したプリンタ）が表示されますので、そのままリターンキーを押します。

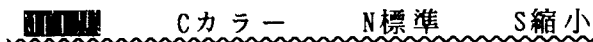
NEC PR201H/HC/T/V/F



② 操作パネルに次の項目が表示されるので、

S	縮小
---	----

 を選択します。



規定値一覧の縮小印刷の行が変更されていることが確認できます。

設定が終了したら、「Q」→「Q」で処理を終えて元のワークシート表示に戻ります。

プリンタ:		規定値一覧	
装置	NEC PR201H/HC/T...	表示形式	分離記号
カラー印刷	白黒		
縮小印刷	縮小(16ドット)		
自動改行	なし		
印字範囲	左 4 右76 上 2 下 2		
頁行数	66		
用紙	単表		

この部分が変わる

これで、縮小印刷の指定がすみましたので、印刷をしてみてください。

蛇足ながら、縮小印字では標準印刷に比べ、印字の質も若干落ちます。

縮小コピーのできるコピーマシンがあれば、縮小印刷をするよりも、標準印刷をして縮小コピーをした方がきれいにできると思います。

## (7) その他の指定

1-2-3の印刷設定は、ワープロなみに細かいところまで指定ができるようになっています。

このテキストではふれませんでした。行間や字間を変えたり、見出しをつけたり、必要に応じた設定をすることができます。

しかし、設定項目が独立しているのではなく、相互に関連しています。

例えば、行間を変更すると、頁行数に影響を及ぼしますし、字間を変更すれば行末位置に影響してきます。

思い通りの印刷物を得るには、いろいろ設定してみて、自分なりの設定値を把握しておくことが必要になります。

◎行間 …… 行間1は1行おきに、行間2は2行おきに印刷する。

行間0	行間1	行間2
あいうえお	あいうえお	あいうえお
かきくけこ		
	かきくけこ	
		かきくけこ

◎行ピッチ …… 行の間隔を微調整する。規定値は0（0～5）

行ピッチは、1 / 5行分ずつ間隔をあけます。

行ピッチ5で1行おきの指定と同じことになる。

◎文字ピッチ …… 文字の間隔を変更します。規定値は2（0～6）

文字ピッチは1 / 6字分ずつ間隔をあけます。

文字ピッチ6で文字間隔を2倍にしたのと同じ。

## (8) 規定値の更新

印刷に関する設定項目は多岐にわたっているため、これを毎回設定していたのでは、メモでもしていない限り忘れてしまうこともあるでしょう。

いつもきまった書式で印刷を行うときには、その書式を規定値としてシステムに覚えさせておきます。

「Wワークシート」→「G全体」→「D規定値」→「Pプリンタ」で変更が終了したら、最後に「U更新」を選択して、システムの規定値を設定した内容にしておきます。

「P印刷」のメニューでは記憶されません。